

### 北海道別海町バイオガス発電事業への出資決定について

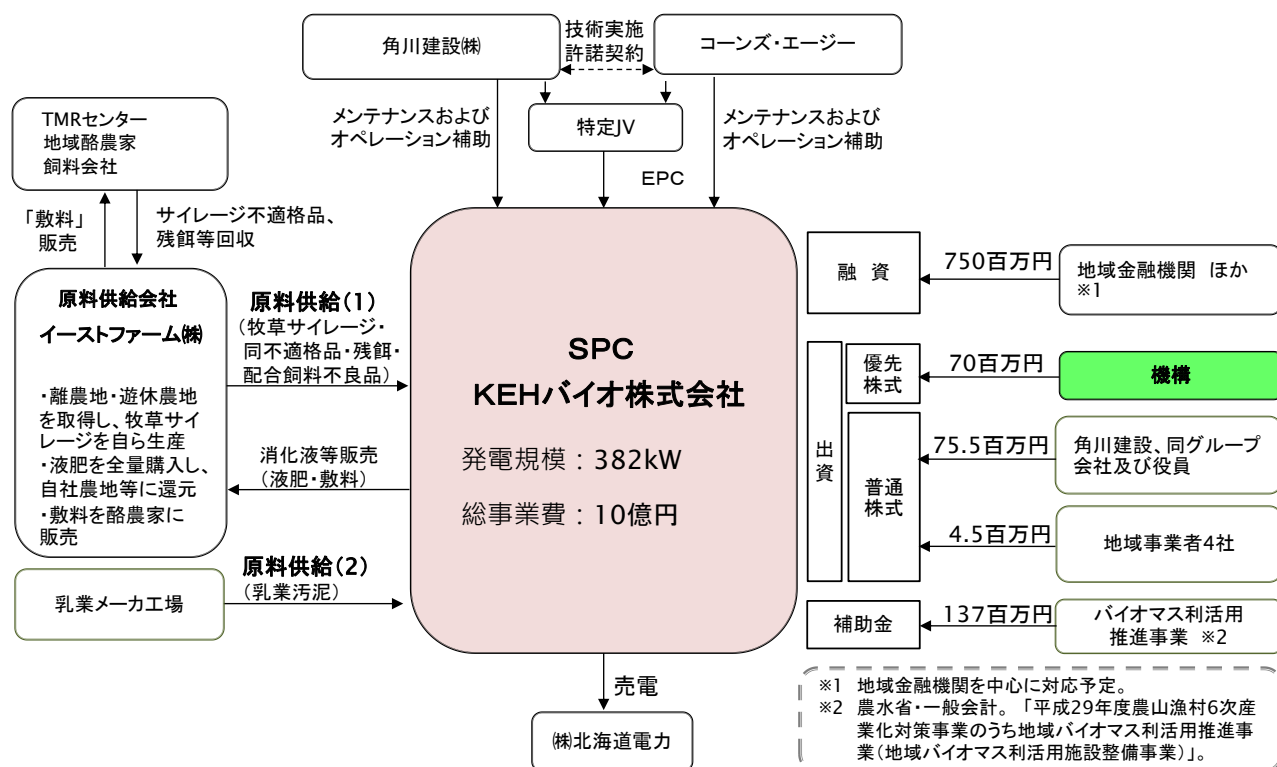
一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、角川建設株式会社（所在地：北海道野付郡別海町 代表取締役：角川義捷）が計画するバイオガス発電事業（以下本プロジェクト）に、70百万円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、地域事業者の角川建設株式会社が、地元主要産業である酪農・乳業関連で発生する廃棄物及び離農跡地を取得して生産する牧草サイレージ（牧草を乳酸発酵させたもの）を原料として、メタン発酵処理により生成するバイオガスで発電を行うものです。国内では草本系バイオガス事業の前例はなく、その先駆けとなる案件であり、離農・高齢化が進み生ずる耕作放棄・休耕地の有効活用モデルとして横展開が期待されます。事業地の別海町は、国が認定するバイオマス産業都市に選定され、地域のバイオマス資源の循環による持続可能な地域社会の実現、地域産業と環境が調和した低炭素社会の実現、新たな産業による雇用創出と農林水産業の活性化等を目指す「バイオマス産業都市構想」を策定しています。本プロジェクトは同構想において具体化するプロジェクトの一つと位置付けられており、地域課題の解消に寄与する案件となります。

また、本プロジェクトは角川建設株式会社にとって初めてとなるバイオガス発電事業であり、施設建造には同社が北海道大学との協同研究で開発した独自技術を採用する計画であるため、今後の更なる案件創出に向けた布石となる案件と考えられます。資金調達面では、地域金融機関が、機構との連携の下で事業性評価や融資の仕組みの構築を行い、他金融機関と協調して融資を行う予定となっており、地域金融機関の目利き力や案件組成力の向上及び地域資金の循環にも繋がる案件となります。

機構は、地域との連携により地域活性化が見込まれること、本事業への出資が民間資金の呼び水となることに鑑み、出資決定致しました。

#### 1. スキーム概要



(説明)

- ① 本プロジェクトに対し、機構が 70 百万円出資します。融資は地域金融機関を中心とした協調融資により調達します。
- ② 上記資金を利用し、角川建設株式会社は、国内バイオガス事業で実績のあるコーンズ・エージ株式会社との技術実施許諾契約の下で、同社との特定ジョイント・ベンチャーを組成して発電所を建設し、稼働後は、両社が発電設備のメンテナンス及びオペレーション補助を担います。

## 2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 事業地である別海町のバイオマス産業都市構想で具体化するプロジェクトを支援するものであり、地域で発生・排出されるバイオマス資源の循環、離農・高齢化が進み生ずる耕作放棄地・休耕地の再生・活用、雇用創出など、地域課題の解消に寄与し得る高い地域活性化効果が見込まれること。
- ② 草本系バイオマス事業の先駆けとなる案件であり、更なる案件創出面での横展開が期待されること。
- ③ 機構の参画が金融機関の呼び水となること。
- ④ 地域金融機関が中心となり、機構との連携の下で、バイオガス発電事業に係る事業性評価に基づき初めて融資を行うものであり、地域の目利き力と金融仲介機能の向上が期待されること。
- ⑤ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 1,643t-CO2/年を想定しています）。

---

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>

---